

3月7日は、いい卒業証書授与式であったと思います。新型コロナ肺炎に対する厳戒体制の中、いえだからこそでしょう、3年生のマスクごしながら その表情・返事・歌の中に気合いを見ました。多くの方の思いや善意、そしてそれに応えようとする生徒の気持ちが感じられました。

さて1・2年生もいない寂しい校舎ですが、来年度の準備を始めています。もちろん、除菌作業も行いました。入学式が普段通りに行えることを祈りながら。



◎ 詩「人間のうた」 ◎

卒業証書授与式の校長式辞で卒業生へのはなむけとした、詩の全文を紹介します。力強く、厳しく、そして限りない優しさにあふれた詩だと思いませんか？

人間のうた 深澤義旻

「うそをつくな」と、おれは言わない。

大事なときに、うそをつかなければいいのだから。

大事なときとは、自分を不幸にするかどうかというときだ。

「くそまじめにやれ」と、おれは言わない。

くそまじめにやって損をすることが多いからだ。

だけど、やらなくてはならないときは、どんなに辛くても、苦しくても、やり抜かなければならない。

それは、自分をだめにするかどうかというときだ。

「誰とでも仲良くしろ」と、おれは言わない。

本当の仲間と、仲良くできればいいのだから。本当の仲間とは、手を握り合い肩を叩き合いながら、自慢話を仕合える相手のことだ。

「まちがいや失敗をするな」と、おれは言わない。

大事なことを間違えなければいいのだから。

大事なことで失敗しなければいいのだから。

間違いや失敗を恐れてはならない。おれが言う大事なこととは、二度と立ち上がれなくなるかどうかということだ。

意思と体力で支えきれなくなるかどうかということだ。

他の間違いや失敗は、星の数ほどあったにしても、少しも怖がることはない。

間違いや失敗から正しく学んでいく限り、自分を高めていけるからだ。



間違いや失敗を一つもしない人間は、結局、何もできなかったやつなのだ。口先だけで、何もできなかったやつなのだ。

「親に心配かけるな」と、おれは言わない。

心と体が丈夫なやつほど、何かをしなければいけないやつなのだ。

そうである限り、何か、どこかで、親に心配かけるに違いないからだ。

親を食らいつくして、思いっきり勇ましく生きてゆけ。

幸せは、祈って待っているものじゃない。

戦いにとっていくものだ。

自分の弱さや醜さと戦いながら、目的と目標をしっかり決めて、それに向かって突進していくときに得られるものだ。

それが自分を大切にすることだ。

自分を大切にできないでいて、どうして人を大切にできようか。

そのことが、そうして生きていくことが、どれほど苦しく、悲しく、切なくても、自分の意思で選んだ道をもう引き返さないぞと覚悟して、歩み続けていくなれば、悲しみも、苦しみも、怒りも、人間の誇りにかえていけるのだ。



雨が降っても、曇っていても、見ろ、雲の上には、太陽がある！

◎後期（12月実施）学校評価アンケートの結果◎

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 学校生活を安心して、楽しく過ごしている |
| 2 | 火事・地震・津波・大雨・不審者から自分の体や命の守り方が分かる |
| 3 | 先生はわかりやすく楽しい授業を行い、生徒の学力を高めようとしている |
| 4 | 家庭学習に計画的に取り組んでいる |
| 5 | 友人の人権を尊重した言動をとっている |
| 6 | 先生は生徒の悩みや相談に耳を傾け相談にのっている |
| 7 | 教室や校内の環境整備や整理整頓を行い、清掃活動に一生懸命取り組んでいる |
| 8 | 服装や頭髪について学校生活にふさわしい身なりを整えている |
| 9 | いつも大きな明るいあいさつができています |
| 10 | 授業開始時刻や家庭での生活時間を守るなど時間を意識した生活をしている |
| 11 | 体験活動や地域のボランティア活動に積極的に参加している |
| 12 | 規則正しい生活をし、心身の健康や体力の向上にこころがけている |
| 13 | 給食を好き嫌いなく食べ、健康な身体づくりに努めている |
| 14 | なりたい職業や夢があり、目標をもって努力している |
| 15 | 学校から配付されたプリントなどを家の人に確実に渡している |

※問いは小と中で共通。保護者用もほぼ同じ問いになっている。

前期に対策を講じていたものについて、その達成率を比較して報告します。

1について95%以上の生徒が肯定的に回答しており、前期より向上しています。**非常に安心できる回答**となりました。

3についても90%以上の生徒が肯定的回答となり、否定的な回答生徒も5%（約20名）と減少しました。**今後もこれを限りなく0名にしていく我々の努力が必要です**。また保護者の回答でも前期評価に比べて5ポイント向上しました。ただしこちらはまだ肯定的な回答は80%です。

6について、85%の生徒が肯定的に答え5ポイント向上しています。また保護者の回答も80%と前期に比べて10ポイント向上しました。**今後も我々は「愛」のエネルギーをもって生徒を育てたいと思います。そして100%の生徒が肯定的な回答を寄せる信頼関係を築きたいと思います**。

7と**9**と**10**は「美礼時」ですが、生徒も保護者も「礼」が不足（生徒は24%で保護者は29%）と回答していて、**平川中の生徒指導的な課題としては「あいさつ」が一番ご指摘が多い**ということがより明確になりました。前期と回答がほぼ変わっていないことも気になります。

14もあまり前期と変化が見られません。キャリア教育について実践や宣伝に努めたつもりですが、まだ結果につながっていない状態なのだろうと考えます。**15**についても**変化が見られない**のが残念です。



「平川中学校では、**生徒から信頼される教員をめざし、より生徒の声に耳を傾け、学力向上に努める姿勢が必要である。また、キャリア教育にさらに力を入れることと家庭学習についての指導が必要である。生徒指導的には、あいさつ活動の活性化と配付物が家庭に渡されるような指導が必要である。**」を継続したいと思います。成果は上りつつあります。

自由記述については、以下の通りです。

- ・放課後、体育館裏で座り込んでしゃべったりしている生徒を時々見るが、あまりいい姿ではない。部活が終わればまっすぐ帰宅する指導をしてほしい。
- ・まずは学校での学習量を増やす。反復で徹底的に鍛えてほしい。教員のゆとりも必要なので、教員を増やしてほしい。
- ・給食の準備から後片付けまでの時間が短いと言っていた。
- ・欠席もなく通学していることに、ただただ感謝の一言です。ありがとうございます。
- ・平川中は終業式まで給食を提供してくださるので、感謝しています。これからも子どもたちのためによりよろしくお願いします。
- ・部活動がもっと盛んであってほしいと思いました。
- ・自学ノートはページ数より中身ではないかと感じています。ページ数を稼げる自学ばかりをしています。
- ・昨年も提案したのですが、体育祭の練習時、帽子着用を義務づけてもらえないでしょうか。中学生になると、「かぶっても良い。」だと「自分だけだと嫌だ。」となってかぶりません。そのあたりを考慮していただけるとありがたいです。

アンケートご協力のお礼（保護者の方へ）

お忙しい中、真摯なお気持ちでのアンケート提出、まことにありがとうございました。おかげさまで、現在の平川中学校の状況や課題が浮かび上がりました。こうしたアンケートは、必ず具体的な改善策を掲げ、課題解決に向けた取組をスピーディーに進めていかないと、価値がありません。教職員一同で共通理解をし、プロの仕事で生徒を育て、来年度には更に数値が向上するようにチャレンジします。またそうした営みが、よりよい学校作り、ひいてはよりよい地域づくりのお手伝いになると信じております。

来年度のアンケートもよろしくお願ひいたします。

平川中学校校長 野村康次



◎掲示板が完成しました◎



前号でお知らせしました通り、掲示板を道路沿いに移設・クロス張替えなどを済ませました。

これから、生徒の活躍やCS活動のお知らせ・ボランティアの募集など、様々なことを発信する予定です。ぜひ一度、ご覧ください。

◎「立志」と、家族・ふるさと◎

新型コロナウイルスを食い止めるための休校と関連して、3月11日に2年生で予定していた「立志の集い」（廣澤寺での座禅）が中止となりました。

代わりにはありませんが、2年生には校長の主として以下のことを伝えたいと思います。『猛（たけ）き黄金の国』という漫画のあるシーンに、坂本龍馬が、「わしゃ、根無し草やき、よう花は咲かせられん。けんど、おまんらは家族という根を大事にして、立派な花を咲かせてほしい。**根のない植物にゃあ花は咲かんぜよ。**」（ずいぶん違う気もするけれど・・・）と叫び、それを聞いていた岩崎弥太郎（後の三菱財閥創始者・漫画の主人公）が密かに「志」を立てるといふのがありました。

もちろんこれは作者の本宮ひろしの創作です。しかし、この漫画を目にした当時、（多分大学生くらいだったと思いますが）このセリフに感銘を受けたのを覚えています。

君たちの中には、現在（将来の「自立」の準備として）「反抗期」に入っている人もいるかもしれません。だけど覚えておいてください。そこからもう一度家族想いになること。私の経験では、**家族想いの人の方が、大人になれます**。

ほっておいても年齢は重ねます。でもそれは大人になることとは少し違う。例えば、嫌なことがあったらすぐに不機嫌になったり泣き叫ぶのは幼児だし、他人のせいにしたりのいじめや犯罪に走ったりすることは正当な行為ではありません。

君たちには「**素敵な大人**」になってほしいと思います。そのための方法のひとつが、家族を大切にすることです。表には見えないけれど、根が養分を送り、全体を支えます。そのおかげで、初めて花は咲くのですね。

根は、家族であり、ふるさとなのです。



今号をもって令和元年度の『学校だより』は終了です。今年度は校長が、主にキャリア教育を意識して作成しました。来年度は教頭が、「学力向上」と「地域連携」を意識して誌面作成をする予定です。来年度もよろしくお願ひします。